



～むかしの道具にみる～

くらしのうついかわい展



なににつかったどうぐでしょう？こたえはてんじしつでさがしてみよう！

小城市立歴史資料館企画展示室（桜城館2階）

H31.1.19（土）→3.3（日）**入場無料**

9:00～17:00（毎週月曜、2/12（火）休館）

※お問合せ先

小城市立歴史資料館

〒845-0001

佐賀県小城市小城町158-4

TEL0952.71.1132

e-mail : bunka@city.ogi.lg.jp



平成30年度「むかしの道具にみるくらしのうつりかわり展」 展示資料目録

No.	資料名	使い方、備考	No.	資料名	使い方、備考
1	かき氷機 <small>ごおき</small>	横にあるハンドルをまわすことで、氷をけずることができます。	24	電気アイロン <small>でんき</small>	こてとおなじように、服のしわをのぼしたり、きれいに折り目をつけたりするのに使います。電気を使います。
2	エベレストジャー	昭和時代、食べ物の温度を保つために使いました。保温・保冷用の容器です。	25	湯たんぼ <small>ゆ</small>	冬、寒い時、中にお湯をいれて、布にくるんでふとんにいれて使います。特に、右から2番目の湯たんぼは「国策保温器」と名前が入っていることから、戦時中(第二次世界大戦中)に使われていたものと考えられます。
3	はがまだい羽釜(大)	ご飯を炊く時に使いました。中にお米と水をいれ、かまどにかけて下から火をたいて使います。	26	はこひばち箱火鉢	はこのかたちをした火鉢。なかに火がついた炭をいれて使います。もちはこびができて、べんりです。
4	はがましよ羽釜(小)	ご飯を炊く時に使いました。中にお米と水をいれ、かまどにかけて下から火をたいて使います。陶器でできています。	27	ひばち火鉢	なかに炭を入れ、へやや人をあたためるのに使います。
5	はがましよ羽釜(小)	ご飯を炊く時に使いました。中にお米と水をいれ、かまどにかけて下から火をたいて使います。アルミでできています。	28	ひばこ火箱	なかの容器に炭を入れて使います。「あなか」ともいいます。
6	めしびつ	炊き上がったご飯を入れます。	29	おき置ごたつ(やぐらごたつ)	やぐらの中に炭を入れて使います。「やぐらごたつ」ともいいます。
7	めしびつ入れ <small>い</small>	めしびつを入れて保温します。	30	ちくおんき蓄音機	レコード盤を中央にセットし、蓄音機にある針をあてると音が鳴ります。
8	めしかご	風通しがいいところに置いてご飯の温度を冷まします。	31	レコード盤 <small>ばん</small>	蓄音機にセットして使います。レコード盤の溝に蓄音機の針をあてると音が鳴ります。
9	りきたけしょうてん力武商店チラシ	昔の商品の広告チラシ。羽釜が紹介されています。	32	しょうがせいむ小学生向け雑誌	小学生向けの雑誌です。漫画王(1)、少女(1)。
10	とうみ唐箕	ハンドルを回して、中で風をおこして、軽いもみやごみ類を飛ばし、重いもみだけを下に落とします。	33	ひばち火鉢	なかに炭を入れ、へやや人をあたためるのに使います。
11	しょうけ	野菜や米を洗ったり、干したりするのに使います。	34	ふばこ文箱	中にこまごまとした日用品をいれます。
12	はかり	台車の部分に、はかりたいものをのせ、分銅を使ってつりあわせて重さをはかります。	35	べんきょうづくえ勉強机	
13	ます <small>しょう</small> (1升、1合) <small>ごう</small>	米や液体の量をはかります。左が1升、右が1合のますです。	36	ぶんぼうどうぐ文房道具	小学生たちが使ったえんぴつや消しゴム、コンパスです。
14	いっとだる一斗樽	お米などの量をはかるときに使います。1斗(10升、100合)入ります。	37	がくしゅう学習ノート	学習のときに使われたノートです(小学生用)。国語(1)、算数(1)、社会(1)。
15	すり切り棒 <small>き</small>	お米などを入れて、1斗分をはかるときに使います。	38	お置きランプ	むかし、へやを明るくするために使われたどうぐです。真ん中の芯にあぶらをひたして燃やします。明るくするために、芯の周りをガラスの「ほや」で囲います。
16	ます	米や液体の量をはかります。「入れ子」(中に収納可能)になっています。左から5勺、1合、2合5勺、5合、1升、1斗のますです。	39	きょうかしよ教科書	尋常小学校の読書科で使われた教科書です。
17	さおばかり	はかりたいものを左につるし、右に分銅をさげて、つりあわせて重さをはかります。	40	きょうかしよ教科書	修身(いまの「道徳」)の教科書です。みんながまもるべき教えやよくそくをまなびます。
18	そろばん	下のわくに玉が5つあるそろばん(5玉)です。玉をはじて計算します。むかしは文字の「読み」「書き」と「そろばん」をかならず学習していました。	41	しょうじょう賞状	昭和7(1932)年の寒稽古の皆勤賞の賞状です。
19	きかいしきたくじょうけいさんき機械式卓上計算機	ハンドルをまわして計算をします。たし算、ひき算、かけ算、わり算などができます。黒色の計算機は昭和20年代、右側の2つの計算機は昭和40年代につくられました。	42	そつぎょうしょうしよ卒業證書	昭和7(1932)年の桜岡尋常高等小学校(現在の桜岡小学校)の卒業証書です。
20	せん洗たく板 <small>いた</small>	みぞがある板の上で洗たく物をもんだり、たたいたりしてありました。	43	ハンドル式黒電話機 <small>しまくろでんわき</small>	右のハンドルをまわし、「交換手」と呼ばれる人に話相手の番号をつたえると、交換手が相手につないでくれて、話をする事ができます。
21	たらい	木や金属でできていて、水やお湯を溜めて使います。	44	ダイヤル式黒電話機 <small>しまくろでんわき</small>	電話番号と同じダイヤルを右まわりに回転させると、相手につながら話すことができます。
22	こて	いまのアイロンと同じように服のしわをのぼしたり、きれいに折り目をつけるのに使います。火鉢などに温めて使います。	45	はしらどけい柱時計	ぜんまいの力で動きます。
23	もくたん木炭アイロン	三角形の部分に炭を入れて使います。服のしわをのぼしたり、きれいに折り目をつけるのに使います。	46	はかり	はかりたいものを右の皿にのせ、左に分銅(おもり)をさげて、つりあわせて重さをはかります。